

2025 年度 京都橘大学における研究倫理教育の実施について（通知）

京都橘大学 研究倫理委員会

本学における研究倫理教育を、以下の通り実施します。該当する者は下記の制度を十分に確認のうえ、遵守していただきますよう、よろしくお願いいたします。

I. 本学の研究倫理教育について

1. 研究倫理教育の提供を受ける対象者について

- (1) 本学に所属している専任教員
- (2) 本学に在籍している大学院生
- (3) 本学に所属し、公的研究費の運営、管理に携わる事務職員（有期雇用契約者を含む）
- (4) その他、本学が必要と認めた者

2. 2025 年度実施の研究倫理教育について

(1) APRIN e-learning コース（一般財団法人公正研究推進協会）の受講について

上記 1 の対象者は、研究倫理教育を受講しなければなりません<全員受講義務>。

本学では研究倫理教育として「APRIN e-learning（以下、APRIN）」を提供しています。

専任教員、大学院生は APRIN の受講を必須としていますので、受講方法・コース等を「表 1」、「表 2」、「表 3」で確認のうえ、全員必ず受講してください。

※過年度に APRIN を受講した方は有効期限をご確認ください。APRIN の有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む 5 年度です（詳細は「II. 3. 受講期間および有効期限について」参照）。

※研究倫理委員など、職務との関係により受講義務が生じる場合がありますので、ご注意ください（詳細は「I. 4. 職務との関係による受講義務について」参照）

※新規でコースを受講する場合、過年度の受講歴は引き継ぎません。

※他機関からの転入者も本学で APRIN を受講してください。他機関で研究倫理教育を受講している場合、受講内容を勘案のうえ、転入年度は APRIN 受講を免除することがあります（詳細は別途確認すること）。

(2) 研究倫理申請説明会の開催について

研究倫理委員会への申請を考えている方は、必ず、研究倫理申請説明会に参加してください。

※録画配信（後日）の視聴も可

日 時：2025 年 5 月 21 日（水）17:10～18:10（Teams 開催・後日動画配信）

対象者：研究倫理委員会への申請を考えている大学院生および教員（参加必須）

内 容：本学研究倫理委員会への申請方法 など。

3. 各種申請時における要件について

- (1) 本学の研究倫理委員会の申請者は、申請時に APRIN の修了証を提出してください。
- (2) 科研費等公的研究費申請者は申請時に、また、採択者は交付内定時に APRIN の修了証を提出してください。なお、JST 等では別途、所定コースの追加受講が求められる場合があります。
- (3) 民間等外部資金申請者・採択者は、申請時および採択時に APRIN の修了証を提出してください。なお、応募条件は助成団体の募集要項にしたがってください(eL CoRE 受講が必須となる場合もあります)。
- (4) 本学における学内研究助成の申請者は、申請時に APRIN の修了証を提出してください。

4. 職務との関係による受講義務について

- (1) 研究倫理委員会委員（新委員のみ／外部委員除く）は「2025 年度研究倫理委員」を受講してください。
- (2) 動物実験委員会委員（新委員のみ／外部委員除く）は「2025 年度動物実験委員」を受講してください。
- (3) 公的研究費に携わる事務職員（新任職員のみ）は、「2025 年度事務職員」を受講してください。
- (4) 研究倫理委員会や動物実験委員会の外部委員は、必要に応じて任意で eL CoRE を受講してください。

II. APRIN の受講方法について

1. APRIN へのログイン方法について

- (1) 本学ホームページ（トップページ→「研究・産学公連携」の「研究活動」「研究活動の公正な実施について」→「公正研究・研究倫理に関する取り組み」）の「6. APRIN e-learning による研究倫理教育」「▶APRIN e-learning コースはこちら」からアクセスしてください。
- (2) 管理者より通知された［ユーザー名（ID）、パスワード］で APRIN にログインしてください。詳細は「APRIN 受講者マニュアル」でご確認ください。

ユーザー名（ID）：ktu+大学のメールアドレス@より前部分。

Ex. aiueo@tachibana-u.ac.jp の場合、ユーザー名は ktuaiueo

パスワード：初期パスワードをメール送信しています。不明の場合はパスワードを再設定すること。

2. 受講方法およびコースについて

- (1) 受講するコース・単元を「表 1」「表 2」「表 3」で確認して、受講期間中にコースに含まれるすべての単元を受講し、コースを修了してください。一部単元のみ受講し、コース未修了のまま受講期間を終えたと、既に受講した単元は無効となり、次の受講期間に再受講が必要となりますのでご注意ください。
- (2) APRIN から単元追加の指導があり、本学研究倫理委員会が追加受講の必要性を認めた場合、改めて通知を行いますので、必要な単元を受講してください。なお、その場合の有効期限は当初の期限から延長しません。

3. 受講期間および有効期限について

(1) 2025 年度の受講可能期間は下記の通りです。必ず下記期限厳守でコースを修了してください。

2025 年度受講者： 2025 年 3 月 3 日（月）～2025 年 8 月 31 日（日）※厳守

(2) APRIN の有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む 5 年度です（下記の通り）。

(例)	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度	2028 年度
2025 年度 APRIN コース受講	1 年目（受講年度） 受講可能期間 2025 年 3 月 3 日 ～ 8 月 31 日	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目（最終年度） コース有効期限 ～2029 年 3 月 31 日

(3) 各コースの必須単元をすべて履修後（合格に必要なスコアは、1 単元 80%以上）、修了証を各自で発行（ダウンロード）してください。前述「I.3」の各種申請時を除き、修了証を管理者に提出する必要はありません。また、受講者自身で、受講状況、成績管理、有効期限の確認を行ってください。

(4) APRIN の修了証には、受講コース名、受講単元、完了日、有効期限等が記載されます。

(例)

●コース カリキュラム修了証	
所属機関	: 京都橘大学
姓	: 橘
名	: 花子
修了日	: 2025/04/02
修了証番号	: AP000000
単元名	完了日
公的研究費の取扱い	2025/04/01
有効期限	: 2029/3/31

※APRIN 修了証の受講コース名と有効期限を確認してください。

※コースの全単元を修了した場合、その受講（修了）年度を含む 5 年度を有効期限としています。

【問合せ先】 ※研究倫理教育に関してご不明な点があれば、下記までお問い合わせください。

京都橘大学学術振興課 担当：北川／田村（内線 1709）

E-mail : kenkyu@tachibana-u.ac.jp

<資料>

表 1 APRIN e-learning 受講コース (コース順)

コース名	単元	受講対象者
A : 2025 年度 人を対象とする研究	16	人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（以下、指針）に該当する研究。 主な対象：看護学部・健康科学部・総合心理学部
B : 2025 年度 基本（人文・社会・その他）	7	人文・社会科学分野に該当する研究。その他、指針に該当しない研究。 主な対象：文学部・国際英語学部・発達教育学部・経済学部・経営学部
C : 2025 年度 動物実験に関わる研究	13	動物実験に関わる研究を行う者。 主な対象：健康科学部・総合心理学部
D : 2025 年度 遺伝子組換え実験に関わる研究	11	遺伝子組換え実験に関わる研究を行う者。 主な対象：健康科学部
E : 2025 年度 理工系に関わる研究	7	理工系に関わる研究。 主な対象：工学部
2025 年度研究倫理委員	7	研究倫理委員会委員（外部委員を除く）
2025 年度動物実験委員	3	動物実験委員会委員（外部委員を除く）
2025 年度事務職員	1	学術振興課、総務課、管財課、経理課、図書館課で公的研究費を直接取り扱う業務従事者。

※ 教員、大学院生は A、B、C、E のいずれかのコースを必ず受講すること（受講必須）。

※ APRIN の有効期限は、各コースの全単元を修了した年度を含む 5 年度です。

表 2

区分	主な対象	APRIN e-learning コース
専任教員	文学部・国際英語学部・ 発達教育学部・経済学部・経営学部	B : 2025 年度基本（人文・社会・その他）
	工学部	E : 2025 年度理工系に関わる研究
	看護学部・健康科学部・総合心理学部	A : 2025 年度人を対象とする研究
	健康科学部・総合心理学部	C : 2025 年度動物実験に関わる研究
	健康科学部	D : 2025 年度遺伝子組換え実験に関わる研究
	研究倫理委員、研究倫理教育委員	2025 年度研究倫理委員
	動物実験委員	2025 年度動物実験委員
大学院生	文学研究科・現代ビジネス研究科	B : 2025 年度基本（人文・社会・その他）
	看護学研究科・健康科学研究科	A : 2025 年度人を対象とする研究
	情報学研究科	E : 2025 年度理工系に関わる研究
職員	公的研究費関連事務職員	2025 年度事務職員

表3 APRIN e-learning研究倫理教育プログラム

※2025年1月31日版をもとに作成

領域		単元	英 語 版	本学コース設定					委員会委員／職員		
				A	B	C	D	E	研究倫	動物実	職員
				人を対象と する研究	人文・社会 (基本)	動物実験	遺伝子組 換	理工系	理委員	験委員	
				16	7	13	11	7	7	3	1
責 任 あ る 研 究 行 為	共通単位	責任ある研究行為ダイジェスト	○						○必須	○必須	○必須
		公的研究費の取扱い	○	○必須	○必須	○必須		○必須			
		利益相反ダイジェスト	○								
		研究インテグリティとその対応	○								
		研究等で適切にAIを活用するために	○								
	研究活動の国際化に伴う諸課題		研究活動の国際化に伴う諸課題ー 研究セキュリティと責務相反 ー	○							
	生命医科学系	責任ある研究者の行為について	○	○必須		○必須					
		研究における不正行為	○	○必須		○必須					
		データの扱い	○	○必須		○必須					
		共同研究のルール	○	○必須		○必須					
		利益相反	○	○必須		○必須					
		オーサーシップ	○	○必須		○必須					
		盗用と見なされる行為	○	○必須		○必須					
		社会への情報発信	○	○必須		○必須					
		ピア・レビュー	○	○必須		○必須					
		メンタリング	○	○必須		○必須					
	人文系	研究活動における不正行為	○		○必須						
		人文学・社会科学分野における盗用	○		○必須						
		共同研究とオーサーシップ	○		○必須						
		ピア・レビューと利益相反	○		○必須						
	社会科学・行動科学	社会科学・行動科学研究におけるリスクの評価	○								
		社会科学・行動科学研究におけるインフォームド・コンセント	○								
		インターネットを使った社会科学・行動科学研究	○								
	人文学・社会科学と研究の公正性	人文学・社会科学分野における研究の質と研究公正性との関係	○		○必須						
		人文学・社会科学の学問特性と研究不正	○		○必須						
	理工系	研究不正	○					○必須			
		工学研究におけるデータの管理上の倫理問題	○					○必須			
		理工学分野における利益相反	○								
		責任あるオーサーシップ	○					○必須			
		理工学研究領域の論文発表とピア・レビュー	○					○必須			
		理工学分野における共同研究	○					○必須			
		研究者・技術者の社会的責任と告発	○					○必須			
		環境倫理	○								
		メンタリングとメンター、メンティー	○								
	技術者向けの倫理	技術と社会～技術の世界へ歩み始める皆さんへ～	○								
		技術倫理～技術者の観点から～	○								
		技術開発におけるリスクマネジメント	○								

表3 APRIN e-learning研究倫理教育プログラム

※2025年1月31日版をもとに作成

領域		単元	英 語 版	本学コース設定					委員会委員／職員		
				A	B	C	D	E	研究倫	動物実	職員
				人を対象と する研究	人文・社会 (基本)	動物実験	遺伝子組 換	理工系	理委員	験委員	
				16	7	13	11	7	7	3	1
技術者向けの倫理		情報技術に関する倫理	○								
		人工知能に関する倫理とガバナンス									
		技術開発における技術データの取り扱いに関する倫理Ⅰ～基礎編	○								
		技術開発における技術データの取り扱いに関する倫理Ⅱ～実践編	○								
		機微技術の管理									
人を対象とした研究		人を対象とした医学系研究の倫理Ⅰ：被験者保護の歴史と原則	○								
		人を対象とした医学系研究の倫理Ⅱ：法律と指針	○								
		生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ	○	○必須					○必須		
		研究倫理審査委員会による審査	○	○必須					○必須		
		研究における個人に関わる情報の取り扱い	○	○必須					○必須		
		人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究	○								
		研究で生じる集団の被害	○								
		研究におけるインフォームド・コンセント	○	○必須					○必須		
		特別な配慮を要する研究対象者	○	○必須					○必須		
		カルテ等の診療記録を用いた研究	○								
		生命医科学研究者のための社会科学・行動科学	○								
		国際研究	○								
		多能性幹細胞研究の倫理Ⅰ・Ⅱ	○								
		研究倫理審査委員会の委員に就任する際に知っておくべきこと	○						○必須		
		人を対象とする医学系研究	○								
		人を対象とした研究ダイジェスト	○								
実験動物の取り扱い		単元１：動物実験の基礎知識	○			○必須				○必須	
		単元２：動物実験の実施にあたり配慮すべきこと	○			○必須				○必須	
研究の安全性		バイオセーフティとバイオセキュリティの考え方	○				○必須				
		実験安全の基本	○				○必須				
		化学物質を使った実験	○				○必須				
		放射性物質の取り扱い	○				○必須				
		遺伝子組換え	○				○必須				
		血液由来病原体対策	○				○必須				
		実験室関連感染とバイオハザードのリスク評価	○				○必須				
		リスク管理	○				○必須				
		バイオサンプルの発送と受取	○				○必須				
		バイオテロリズム	○				○必須				
		バイオセキュリティ	○				○必須				

※ 「○○必須」は受講を要する単元です。空欄はオプション単元です（任意受講。修了証発行の要件とはならない）。

※ 単元名は、一部省略しています。また、単元名は変わることがあります。

※ 領域のうち、「治験」「中等教育教材」「学部導入教材」「安全保障紡績管理（輸出管理）教材は対象外（上記リストに表示していない）。